

# 事業評価シート（平成25年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	金融相談事業		
事業担当	産業振興部 産業振興課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'01	①〈持続可能〉産業の発展を持続させる	
	'02	2 産業の経営基盤を強化する	
根拠法令等	平塚市中小企業等融資制度要綱		
対象・受益者	融資を受けようとする中小企業	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 ○NPO その他】【協働：湘南経営支援パートナーズ】		
	目的・目標		事業の概要
金融相談を通し、中小企業者の経営の健全化が図られています。		中小企業者の経営の安定と振興を図るため、各種融資制度の紹介等経営改善相談業務を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	「金融のしおり」発行部数			単位	部
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標	3000	3000	3000	3000	
	実績	2832	2783	2700		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	融資相談件数(平成25年度から)			単位	件
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標			500	500	
	実績			448		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成25年度の主な取組と成果						
金融総合案内窓口を設置し、融資を受けようとする中小企業者が、国、県、市の融資制度についての情報やアドバイスを得られる環境を整え、利用者の利便を図るとともに、チャレンジアップ資金融資の活用によって、創業の促進や中小企業者の経営革新を図りました。						
平成25年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	融資相談を希望する事業者は数多いが、総合的に相談できる窓口は少なく、必要性は高いです。また、国のセーフティネット保証制度に関する相談も多く、相談窓口の重要性が高く、市が関与する必要性は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	融資相談のみならず、申請書類記入のアドバイスも行い、融資を受けようとする市民の満足度は高いです。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	事業者の融資相談のほか、新創業に関する相談も受け付けており、総合案内窓口としての妥当性は高いです。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	税理士、中小企業診断士、金融アドバイザーなどで構成しているNPO法人との協働により行っている事業であり、効率性は高いです。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		新産業の創出や新たな事業活動を促進するため、チャレンジアップ資金の活用を促す必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		相談窓口の開設と金融のしおりの作成・配布	相談窓口の開設と金融のしおりの作成・配布	相談窓口の開設と金融のしおりの作成・配布	相談窓口の開設と金融のしおりの作成・配布
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	4,179	3,939	3,532	4,532
事業費 (A)		4,179	3,939	3,532	4,532
執行率 (%)		84.60	83.15	74.81	
内訳	職員 (人)	0.35	0.38	0.28	0.28
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	2,837	3,046	2,226	2,188
フルコスト (A+B)		7,016	6,985	5,758	6,720

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針	相談者のニーズを的確に捉え、市民満足度を高めるような相談を推進します。
課長コメント	本市では、中小企業者に対する国、県、市の様々な融資関連情報を提供しています。利用者に最適な情報を提供するには専門的な知識が必要であり、専門家に委託することで迅速な対応と利便性が確保できます。また、チャレンジアップ資金のモニタリングを行う等により成果が得られているため、継続すべき事業と考えています。